



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

あこ

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部 (直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 城野 英利

地域医療支援部長に就任しました

地域医療支援部長 城野 英利



皆さま、こんにちは。福田誠先生の退職に伴いまして、4月1日付けにて地域医療支援部長に就任いたしました城野英利です。わたくし、当院に赴任しましたのが平成20年6月でしたので、すでに10年の日々が経過しておりますが、改めて自己紹介をさせていただきます。

1961年1月、長崎市の生まれです。長崎大学医学部を昭和60年

に卒業致しました。卒業後は、大学の医局には所属しないで、長崎県離島医療圏組合という組織の中で国立長崎医療センターと離島の中核病院での勤務を行ってきました。天草に来る前は、対馬という韓国が見える島で勤務していました。縁あって上天草総合病院にお世話になり早10年が経ちました。

現在、外科医と内視鏡医の仕事を中心に行っておりますが、他には、がんのリハビリテーションに関連する活動や褥瘡の管理にも携わっています。また、熊本地震の際にはDMATメンバーとして益城町にも出動し、貴重な経験を積むことができました。院外では、天草広域連合のメディカルコントロールの会議や上天草市の多職種連携会議にも参加させていただいています。今回、地域医療支援部長として職務を行って参りますが、不慣れな所も多く皆さまにはご迷惑をお掛けするかもしれません。そのような際には、さらなるご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、この場をお借りして地域医療支援病院制度についてご説明いたします。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、再度確認されてください。

地域医療支援病院制度は、「地域に必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関」として1997年の第3次医療法改正で創設されました。

主な機能は、①紹介患者に対する医療の提供(かかりつけ医等への患者の逆紹介も含む) ②医療機器の共同利用の実施 ③救急医療の提供 ④地域の医療従事

者に対する研修の実施 の4つの役割・機能が求められ、それぞれが承認要件となっています。(承認要件は以下に示します。)

承認要件

○ 開設主体:原則として国、都道府県、市町村、社会医療法人、医療法人等

○ 紹介患者中心の医療を提供していること

1 紹介率80%を上回っていること

2 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること

3 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること

○ 救急医療を提供する能力を有すること

○ 建物、設備、機器等を地域の医師等が利用できる体制を確保していること

○ 地域医療従事者に対する研修を行っていること

○ 原則として200床以上の病床、及び地域医療支援病院としてふさわしい施設を有すること

2019年9月時点で全国の2次医療圏の586病院が地域医療支援病院の承認を受けています。

天草地区におきましては、天草地域医療センターがこの要件を満たし、承認を受けています。

当院は、病床数と紹介率において承認要件を満たすことはできないのですが、地域医療支援課において上記①から④の役割を担っていることとなります。

文末にはなりますが、地域医療支援課の業務をまとめておきます。今後ともよろしくお願い致します。

* 外来や入院の紹介患者の受付と予約

* 紹介元の先生への報告書および検査結果の郵送

* 紹介患者に対する電話やFAXなどでの問合せへの対応

* 開放型病床や検査機器共同利用の運用

* 外来担当表や病診だよりの発行と送付

* 当院で行う研究会・講演会などの開催案内

* その他

学生と研修医のアンケートから覗える医師確保のポイント

医学部学生・医師卒後研修（初期臨床研修）地域医療研修担当 ○ 平岡 英治 和田 正文

当院は地域医療研修として多くの医学部学生・医師卒後研修及び初期臨床研修（研修医）の受け入れを行っています。医学部学生は熊本大学と自治医科大学、研修医は熊本大学・熊本赤十字病院・済生会熊本病院・公立玉名中央病院・熊本労災病院から来られています。また今後専門医プログラム（内科専門医・総合診療専門医・外科専門医等）の専修医も研修が増えることが予想されます。プログラムに参加している診療所や様々な規模の病院がある中、外来診療・救急対応・入院診療・診療所診療・老人保健施設・特別養護老人ホーム・訪問診療・訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション・結核審査会(保健所)・介護保険審査会・人間ドック・健診など多岐に渡る研修ができることが当院の特徴です。また地域の特性を生かし地域に密着した医療も大きな魅力の1つとなっています。

す。また実習や研修ができるように、様々な種類の指導医免許の取得・維持を行っています。

そこでよりよい研修ができるよう生活環境・研修内容等を評価のため、平成28年から来てくれた医学部学生及び研修医にアンケートを実施しました。当院の印象や当院が今後働く病院として選択肢に入っているのかも含めて調査しました。中でも数名の学生が再度研修したいと希望し、今年度も研修を当院で行いました。将来は医師として成長したあと当院で働くことを希望しています。

実際のアンケート

当院を選んだ理由

医学部学生

- 天草に行きたかった・海が見たかった 7
- 地域医療に興味があった 6
- 当院に以前来たことがある 1
- 天草に来たことがある 1
- 将来働くことがあるかもしれないから 1
- 大学の実習プログラムにあったから 1
- 他院を希望していたができなくなった 1

将来の展望というより実習を楽しくすごしたい願望が大きい？



研修医

- 天草(海)が好き 6
- 地域医療の症例が豊富 5
- 当院で実習していた同期から勧められた 3
- 訪問診療・診療所で研修できる 3
- 学生で当院に実習したときにスタッフが良かった 2
- 地元の近くで研修をしたかった 1
- 龍ヶ岳町によくきていた 1
- いろいろ検査 外来させてくれる 1

実習で一度来ているもしくは友だちがきて勧められた

為になったこと

医学部学生

- 地域医療(地域包括ケア) 8
- ダニの話 2
- 多職種の間わり 2
- 地域ケア会議 1
- 日本紅斑熱など地方でも情報発信できることを知った 1
- 先生とマンツーマンでの指導 1
- 診療体験 1
- 水俣病に関する悩み 1

地域医療に対する知識



研修医

・地域医療に対する知識・退院に向けての多職種の間わり・大病院でできない新患外来と処置

- 退院の工夫(在宅での医療資源) 8
- 訪問診療・老健・診療所を経験 5
- 手技・処置 4
- 新患外来を経験 3
- 介護保険(意見書)を経験 2
- 専門医がいなくときの対処 2
- 感染症疾患を経験 1
- 日本紅斑熱の講演 1
- 地域住民といっしょに診療するスタイルを経験 1

学生・研修医が数ある病院から当院を選択し、希望することで研修が始まります。希望してくれるような魅力的な研修施設にしていくことも重要課題で

今後当院での勤務を希望する学生・研修医が増えるよう、どう考えどう実行していったら良いか、医学部学生及び研修医の縦と横のつながり、積極的に受け入れるべきであるといった内容で発表しました。病院全体で共有していきたい話題であり、今後医師確保の際に道しるべとなれば幸いです。

当院の評価は？

研修病院として総合得点を100点満点で評価

点数は高いが…どこまでが本音か…わかりません。そして、天草に来たいと言っているが…、住みたいとは言っていない。

これらのアンケートで垣間見えたのは…

- 医学部学生・研修医の横(同級生)と縦(先輩・後輩)のホットライン(推薦)
- 「学生の時に来ていた」⇒研修に再度来る もしくは 推薦が増える **相乗効果**

学生の研修は積極的に受け入れるべき
研修医も受け入れるべき
天草にゆかりがある人は重要人物。
職員の間わりは重要 夕食会も増やした方が良いか…？

同時に学生・研修医の研修もある
ただ、指導する側の余裕がない
また 指導するための講習会も出費要

今まで来てくれた研修医の方で数名はいずれ来たいと言っている人はいます
今後、専門医習得のための専任医が増える可能性があります
研修担当医だけでは、対応難しいので皆様のお力お貸しください

退任のご挨拶

名誉院長 樋口 定信



私、この度3月31日をもちまして、32年間勤務させてもらいました上天草市立上天草総合病院を退職いたしました。多くの皆様に支えられ、応援して頂きどうにか無事に退職できましたことを心から感謝申し上げます。

さて、32年を振り返りますと、色々な思い出が頭の中を走馬灯のように駆け巡ります。

その中のいくつかをあげますと、まず第一は初代院長の岡崎禮治先生と外科の堀志朗先生のお招きで昭和62年4月に副院長として赴任してきた頃の事です。4月から内科の医師が1人になるとのことで、現在栖本で開業されておられる本原邦彦先生と私の2人が呼ばれたのです。



岡崎 禮治先生と

それからの1年間は倉岳の小松先生が8月末までお手伝いいただきましたが、その後は本原先生と2人で月曜から土曜まで毎日午前中は外来診療、午後病棟回診をしていました。80人近くの内科の入院患者さんを2人で診るのは大変でしたが毎日が楽しく充実していました。昭和63年4月から、溝部先生、11月から坂本先生が赴任され、その後は熊大呼吸器内科からの研修医の派遣が始まり、内科医師も多いときは10名になりました。

療・ケアシステム」の構築に努力しました。そうした中で最大の問題・課題は医師確保と健全経営すなわち赤字の解消でした。医師確保には本当に苦労しましたが、32年間で一緒に仕事をして頂いた医師は200人を超えています。また、その中には2度、3度と戻ってきていただいた先生が9名おられます。これは、職員の皆さんが医師を大事にし、仕事が楽しくできるように協力してくれたおかげだと感謝しています。経営健全化に関しては、上天草市が誕生した平成16年には不良債務が3億4000万円と危機的状況でした。そこで病院の経営形態を平成19年4月に熊本県の自治体病院では初めてとなる地方公営企業法の全部適用に移行し、全職員が一致団結して経営改善に努力した結果、平成19年度から黒字決算になり、平成22年度には不良債務を解消できました。その要因としては整形外科の藤松先生の就任をはじめ医師数が23人になったことと、一般職員の賞与カットへの協力にみられる意識改革のほか、上天草地域婦人会をはじめ多くの病院ボランティアなどの市民の皆様の大変なご支援がありました。皆様に改めて感謝申し上げます。

もう一つ嬉しかったことは老朽化した上天草看護専門学校と学生寮と健康管理センターを新築できたことです。看護学校と看護学生は上天草市の宝物だと思っています。



上天草看護専門学校（新校舎）



医局常勤医師（平成26年度）

当院のめざす医療はこれからも地域包括ケアシステムを推進し、赤ちゃんからお年寄りまでが住み慣れた町で、安心して生活できる街づくりに貢献することだと思っています。

少子・超高齢社会となり、人口減少が進む中で地域医療を取り巻く環境は、益々厳しくなりますが、蓮尾事業管理者、脇田院長を中心に全職員が力を合わせて、当院の理念である「信頼される地域医療」を実践、推進するために努力していきますので、住民の皆様、地域医師会の先生方、市議会議員、市長をはじめとした行政職員、その他の関係各位の皆様、これまで以上のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

平成2年の9月に病院長に就任した後は、平成3年7月に新病院に移転し、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、歯科保健センター、介護老人保健施設「きららの里」、居宅介護支援センターを併設し、保健・医療・福祉・介護の統合を目指した「地域包括医

退職のご挨拶

前地域医療支援部長 福田 誠



今年3月をもちまして、16年勤務しました上天草総合病院を退職いたしました。平成15年の赴任以来、今日まで勤務が続けられましたことは、病院の職員はもとより地域の皆様に助けられたからこそ、と感謝申し上げます。

病病連携や病診連携が、医療界の中に広まってく中、上天草総合病院にも、平成18年8月1日に地域医療連携室が開設されました。スタッフは皆、兼任業務で、私は開設時から、室長として関わってまいりました。開業医の先生方との情報交換や先生方から患者を紹介頂いた際に滞りなく流れるようにと、書式の設定や紹介の際のフローチャートの検討から開始しました。また、当院を知ってもらうための広報誌は「地域医療連携室通信」の名称で翌月9月が創刊号となっています。以来、院内の行事や勉強会や講演会の案内、新任医師の紹介等を記事として提供してまいりました。平成25年1月からは広報誌の名前

を「あこう」と改変し、私は主に編集後記を担当してまいりました。毎月の編集は、記事の選定や収集にスタッフには負担と思われましたが、編集後記の催促に時間の速さや季節の移ろいに驚きながら、拙文を重ねてまいりました。

また、第1回上天草総合病院地域連携会議を平成28年7月に開催し、同年8月から当院に地域包括ケア病室（現在は病棟）を開設することをお伝えしました。それ以降は、地域包括ケアの運営にご協力いただけるよう、年に3回の上天草総合病院地域連携会議の開催を継続してまいりました。会議にご出席いただき、毎回貴重な意見を頂きました。

このように省みますと、皆様にいろいろなご配慮いただき、支えられて当院が運営できていたことと、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後は、新しい部長のもと、これまで以上に上天草総合病院地域医療支援課にご支援を賜りますようお願い申し上げます、お別れの挨拶とさせていただきます。

大型連休の外来診療について

4月27日(土)から5月6日(月)まで外来休診となります。
ただし、4月30日(火)、5月2日(木)は外来診療を行います。

4月30日(火)：内科、循環器内科、外科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科 の予定となります。

5月2日(木)：内科、循環器内科、外科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科 の予定となります。

※都合により変更となる場合があります。ご了承ください。

研修会・勉強会の行事予定表

4月19日(金)	心臓リハビリテーション教室 ・心臓リハビリテーションとは	14:30～ 当院6階講堂
4月22日(月)	学研・基礎研修 フィジカルアセスメント運用能力の向上 ～急変時のフィジカルアセスメント/バイタルサイン～	15:00～ 当院6階講堂
4月26日(金)	がんサロン	13:30～ 当院6階講堂

医療介護関係の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療支援課『TEL 0969-54-7373 (直通)』『TEL 0969-62-1122 (代表)』までお問い合わせ下さい。

編集後記

○地域医療支援課に配属され、2年目の春を迎えました。1年間あこの編集に携わり、誌面作成の難しさを感じているところです。皆さんに読みやすい誌面を作成できるよう精進してまいりたいと思います。今年度もよろしく願いいたします。(大塚)